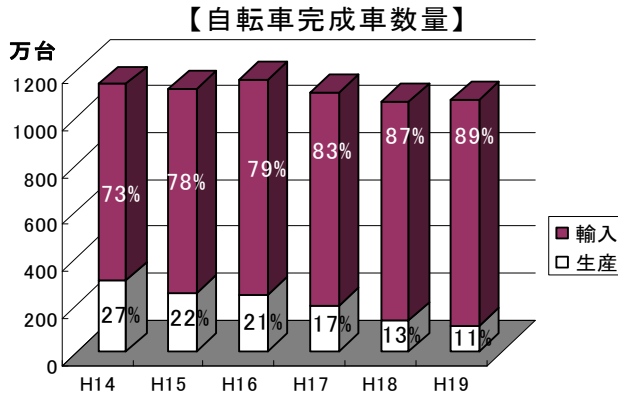


# ロハス！【LOHAS】

《Lifestyles Of Health And Sustainability (\*1) 健康で持続可能な社会を志向するライフスタイルの意》

このところの、環境問題、健康への関心の高まりやガソリン価格への懸念などから、通勤などを自家用車から自転車へ切り替えるケースが増えているようです。

下のグラフは、「自転車生産動態・輸出入統計」(財)自転車産業振興協会から自転車の完成車数量を表したものです。

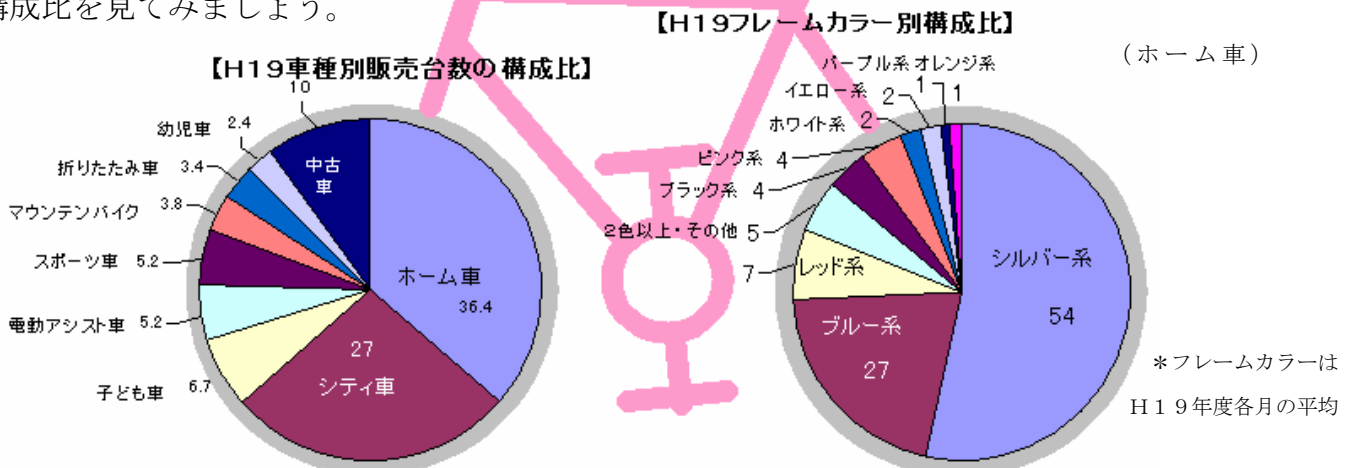


【平成19年輸入実績表(国・地域別)】

中国	9,276,220
台湾	300,354
米国	9,542
ベトナム	3,360
インド	2,782
イタリア	2,314
その他	8,742
合計	9,603,314

各年とも自転車完成車数量における輸入量が7割を超えており、年々増加の傾向にあります。また、輸入元は圧倒的に中国が多く、続いて台湾、米国の順になっています。

次に「自転車国内販売動向調査(\*2)」(同財団)から車種別販売台数とフレームカラーの構成比を見てみましょう。



車種別では、いわゆる“ママチャリ”と呼ばれる、ホーム車とシティ車の合計が全体の6割を超えており、カラーではシルバー系が半数を超えている状況です。皆さんが乗っている、あるいは欲しいと思っている自転車はどんなタイプでしょう？

“ロハス”とは「環境や健康への意識が高い人々によるライフスタイルやその市場をさし、地球環境のために節約するだけでなく、環境と共存しながら健康的で無理のない生活を追求すること」です(「大辞泉」から)。環境や健康の諸問題に対しては、斜(ハス)に構えるのではなく、ロハスの心構えで臨みたいものです。

(\*1) Sustainability…サステイナビリティ。「持続可能性」と和訳される  
 (\*2) 全国100小売店(従業員3人までの店舗)を対象に毎月実施しているもの  
 (参考) (財)自転車産業振興協会 <http://www.jbpi.or.jp/>

# 何が違うの？

あなたは「平均余命」と「平均寿命」の違いがわかりますか？

そもそも「平均余命」を耳にしたことがない人もいるのではないのでしょうか。

「平均余命」とは、「ある年齢の人々が、その後何年生きられるかという期待値」のことです。一般に知られている「平均寿命」とは、0歳での平均余命のことを指しています。つまり、「平均寿命」は、ある年齢の人の残りの人生を計算するには役立ちません。

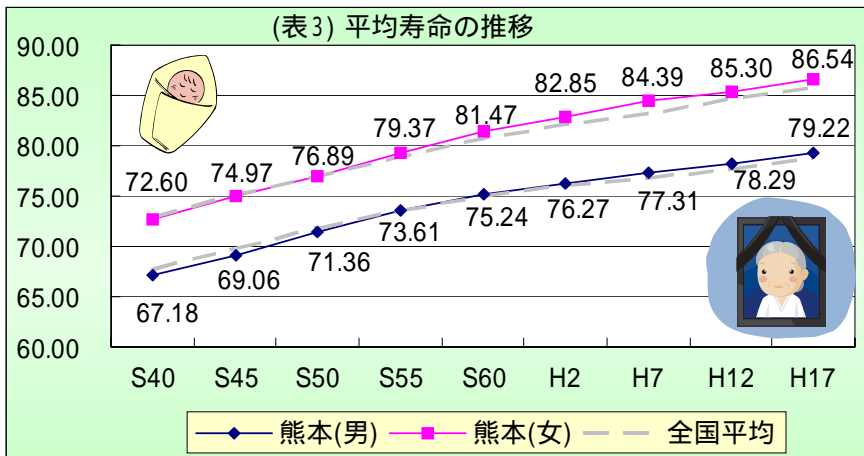
表1・2より、平成17年の熊本県の平均寿命は、男性79.22年(全国10位)、女性86.54年(全国3位)と全国でも長寿の県です。全国1位は、男性は長野県(79.84年)で、女性は沖縄県(86.54年)となっています。表3の平均寿命の推移では、男女ともに昭和55年以降は全国平均を上回っています。

表1 平均余命(男) - 全国・熊本 - (単位:年)

都道府県	0歳		20歳		40歳		65歳		75歳	
	平均余命	順位	平均余命	順位	平均余命	順位	平均余命	順位	平均余命	順位
全国	78.79	...	59.31	...	40.08	...	18.33	...	11.27	...
熊本	79.22	10	59.71	10	40.54	7	18.82	3	11.56	5

表2 平均余命(女) - 全国・熊本 - (単位:年)

都道府県	0歳		20歳		40歳		65歳		75歳	
	平均余命	順位	平均余命	順位	平均余命	順位	平均余命	順位	平均余命	順位
全国	85.75	...	66.17	...	46.61	...	23.42	...	15.06	...
熊本	86.54	3	66.88	4	47.28	4	24.05	3	15.62	3



熊本県の65歳男性の「平均余命」は18.82年になっています。65歳男性の残りの人生は平均19年になる、ということです。

つまり「平均寿命」の79.22年よりも約5年間長生きできそうということです。

「平均寿命」と「平均余命」、この違いわかりましたか！？

プチ情報

【歴代世界最長寿人物】 ギネス世界記録で認定されたもので、世界最高齢は、1997年に亡くなられたフランス人女性ジャンヌ・カルマンさん(122歳164日)です。そして、なんと！第2位は日本人です。1986年に亡くなられた日本人男性の泉重千代(いずみ しげちよ)さん(120歳185日)で鹿児島県出身。男性としての「世界最長寿人物」です。今度はあなたが記録更新かも...

資料：厚生労働省「平成17年都道府県別生命表」より

厚生労働省(統計のページ) URL: <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html>

## 巻頭トピック

# 医者が青くなるワケ

寒さが増して、風邪のはやる季節となりました。みかんは、免疫力をアップさせるビタミンCを多く含んでおり、風邪予防に効果が高いとされています。

農林水産省の『平成19年度果樹生産出荷統計』(※1)から、温州みかんの出荷量を見てみましょう。熊本県は全国で4位の出荷量となっています。熊本の温州みかんには「豊福」「肥のあけぼの」「金峰」などの種類があり、それぞれに個性的な味わいがあります(※2)。

また、同調査結果から日本で収穫されるほかの果物のお荷量を紹介します。 (上段は全国出荷量(t)、下段は出荷量1位の県)

順位	都道府県	出荷量 (t)
	全国	1,066,000
1	和歌山	185,400
2	愛媛	168,300
3	静岡	146,200
4	熊本	97,000
5	長崎	75,400

りんご	日本なし	かき	ぶどう	もも	なつみかん	キウイフルーツ	くり	パイナップル
								
748,700 t 青森県	272,300 t 千葉県	196,000 t 和歌山県	190,700 t 山梨県	137,400 t 山梨県	50,400 t 熊本県	27,300 t 愛媛県	15,600 t 茨城県	10,100 t 沖縄県

総務省統計局の『平成19年家計調査(年報)』(※3)によると、くだものに対する支出金額は下表のとおりでした。

熊本市			全国		
品目	支出金額(円)	購入数量(g)	品目	支出金額(円)	購入数量(g)
りんご	4,246	11,142	りんご	5,338	13,781
バナナ	3,154	15,203	みかん	4,942	14,594
イチゴ	3,010	2,894	バナナ	3,964	17,207
みかん	2,943	10,673	いちご	3,736	3,252
すいか	2,620	8,036	ぶどう	2,556	2,731
生鮮果物	29,927	71,216	生鮮果物	37,298	88,684

(二人以上の世帯における年間一世帯当たりの支出金額と購入数量について、支出金額の多い順に5種類を掲載。また、生鮮果物全体値についても併せて掲載)

最近の研究で、温州みかんには発ガン抑制に大きな効果のあるベータ・クリプトキサンチンが多く含まれていることが明らかになりました。

昔から「みかんが黄色になると医者が青くなる」(西洋では「りんごが赤くなると医者が青くなる」と言われる)とおり、くだものには病気の予防や健康増進に役立つ成分がたくさん含まれています。くだものパワーを借りて、この冬を「元気色」で過ごしたいですね。

(※1) 農林水産省HP <http://www.maff.go.jp/www/info/bunrui/mono06.html>

(※2) J A熊本果実連 <http://www1.neweb.ne.jp/wa/3kj/>

(※3) 家計調査 <http://www.stat.go.jp/data/kakei/index.htm>



# 魅惑の小宇宙



(平成19年3月現在)

日本は世界でも有数の温泉国と言われます。寒いこの時期は温泉で温まりたいですね。

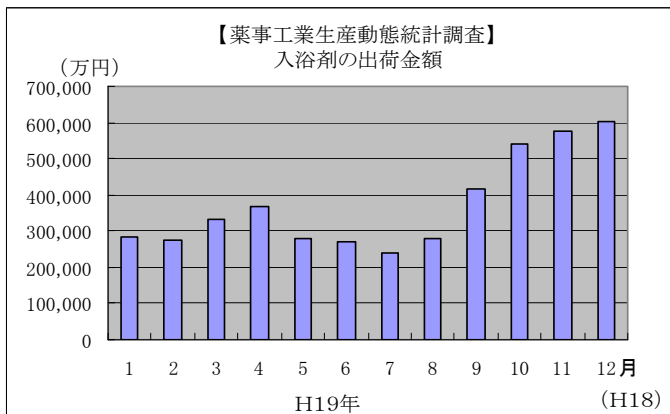
環境省の「温泉利用状況」(※1)によると、都道府県別の温泉地数は右のようになります。(多い順に20位までを掲載)

温泉療法という医療法があるとおり、温泉は体と心の健康増進に役立ちますので毎日でも利用したいものですが、そうもいかない場合は、家庭のお風呂に入浴剤を入れて温泉気分を味わってみるのはどうでしょう。そもそも入浴剤は、温泉に行かなくても家庭で簡単に応用できないかという考えから天然の温泉成分を乾燥、粉末化したものが始まりだそうです。(※2「日本浴用剤工業会HP」から)

下のグラフは、厚生労働省の「薬事工業生産動態統計調査」から入浴剤の出荷金額を月別に示したものです。(※3)

都道府県			温泉地数	
			(箇所)	順位
北海道			247	1
長野県			232	2
新潟県			150	3
青森県			144	4
福島県			134	5
秋田県			131	6
静岡県			120	7
群馬県			99	8
鹿児島県			99	9
山形県			94	10
岩手県			91	11
千葉県			86	12
大分県			77	13
熊本県			76	14
兵庫県			73	15
富山県			72	16
栃木県			71	17
広島県			68	18
岐阜県			67	19
石川県			61	20
全	国		3,157	

温泉地数…宿泊施設のある温泉を計上



これによると、寒くなる年末にかけての出荷量が多くなっていますが、個人で消費するものに加えて、お歳暮などの贈答品としての利用も増加の一要因ではないかと考えられます。(現在の公表は平成19年11月分まで。参考のために12月は平成18年のデータを掲載)

今日では、温熱効果のみならず、スキンケアやリラックス効果を重視した商品も多く開発されており、ドラッグストアの入浴剤コーナーはたくさんの商品でとてにぎやかです。入浴剤を使えば、ドラえもんの「どこでもドア」がなくても、温泉、森林、英国のバラ園やフランスの葡萄畑など、いろいろなところへ簡単に小旅行(した気分)が楽しめそうです。



(※1)「温泉利用状況」 [http://www.env.go.jp/nature/onsen/use\\_chrono.html](http://www.env.go.jp/nature/onsen/use_chrono.html)

(※2)「日本浴用剤工業会」 <http://www.jbia.org/>

(※3)「薬事工業生産動態統計調査」 <http://www.mhlw.go.jp/topics/yakuji.html>

# 革靴で大志を抱く。

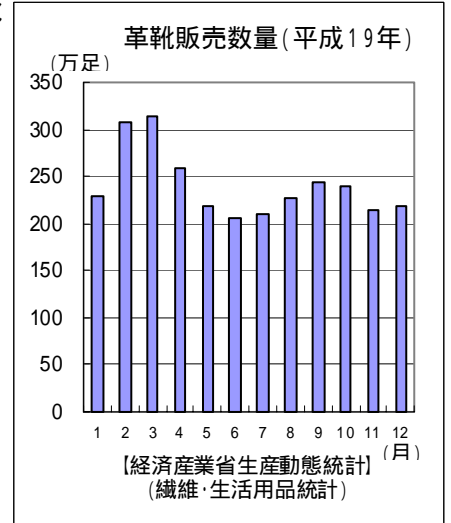
【グラフ1】



2月4日は立春です。柔らかな春の足音が聞こえてくるのを待ちながら、まずは足下から春支度を始めるのはいかがでしょう。

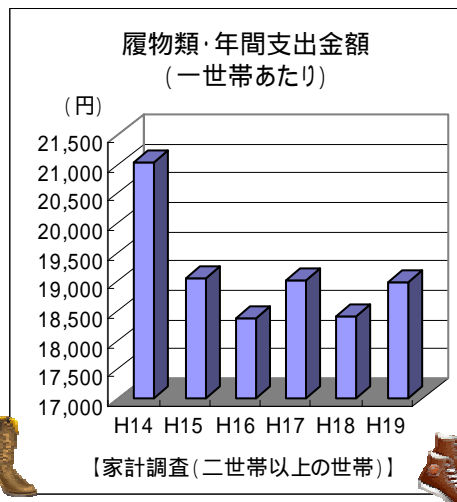
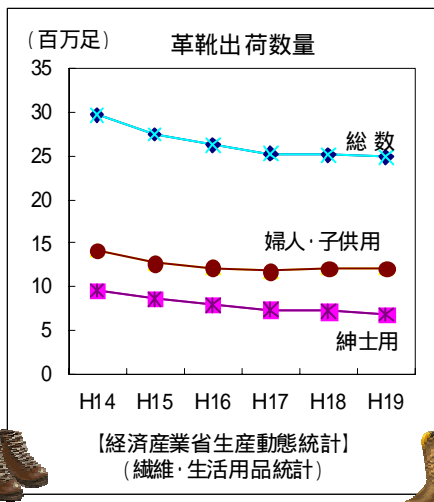
経済産業省の生産動態統計(1)から、革靴の月別販売数量(平成19年)【グラフ1】を見てみると、2月と3月が多くなっています。新年度(新学期)に向けて、志も新たに靴も新調するというケースも多く含まれているかもしれません。

次に、同調査から革靴の全国出荷数量を見てみましょう。H14からH19にかけて、総数、婦人・子供用、紳士用ともに減少してきています【グラフ2】。また、家計調査(2)で、履物類に対する支出金額を見ても年々減少傾向にあるのがわかります【グラフ3】。



【グラフ2】

【グラフ3】



【表1】  
「靴・履物」小売業の事業所数

順位	都道府県名	事業所数 (10万人あたり)	総数
1	高知県	14.1	110
2	岩手県	13.8	188
3	福井県	12.9	105
4	山形県	12.9	154
5	東京都	12.4	1,587
6	石川県	12.4	145
7	青森県	12.4	174
8	新潟県	12.1	290
9	富山県	11.9	132
10	徳島県	11.6	93
:			
39	熊本県	8.3	152
全国		9.6	12,311

【平成19年商業統計調査】

【表1】は、平成19年商業統計調査結果(3)をもとに、靴屋さんの数(人口10万人あたり)をランキングしたものです。上位10県のうち、7県は中部・東北地方で、2県は四国地方となっています。熊本県は第39位で、全国平均より少ないことがわかりました(4)。

第1位は高知県となっていますが、くしくも、日本で初めて革靴を履いたのは、土佐生まれの坂本龍馬だと言われています。

紋付き袴に革靴をコーディネートした龍馬の姿(5)は有名ですが、逆境といわれる今こそ、既成概念にとらわれない自由な発想が必要かもしれません。

1 「生産動態統計(経済産業省)」 [http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/gaiyo/05\\_seni.html](http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/gaiyo/05_seni.html)

2 「家計調査(総務省)」 <http://www.stat.go.jp/data/kakei/index.htm>

3 「商業統計調査(経済産業省)」 <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syougyo/index.html>

4 商業統計調査は平成19年6月1日実施。人口は同年10月1日の推計人口を用いた。

5 「高知県立坂本龍馬記念館公式サイト」 <http://kochi-bunkazaidan.or.jp/ryoma/>



# 巻頭トピック



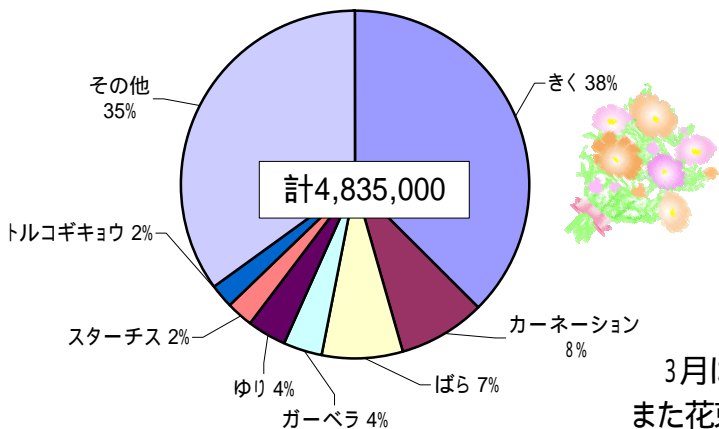
3月に入り、寒さが和らぐのは嬉しいことですが、花粉症の脅威を思うとウキウキもしてられません。厚生労働省の薬事工業生産動態統計( 1)から、鼻炎薬などにも含まれる成分で、鼻みず、くしゃみなどのアレルギー症状をやわらげる「抗ヒスタミン剤」の出荷金額( 2)について月別に表してみました【グラフ1】。これによると、風邪が流行し始める12月と花粉症の症状が現れる3月が高くなっているのがわかります。花粉症への対策は万全でしょうか？

【グラフ1】

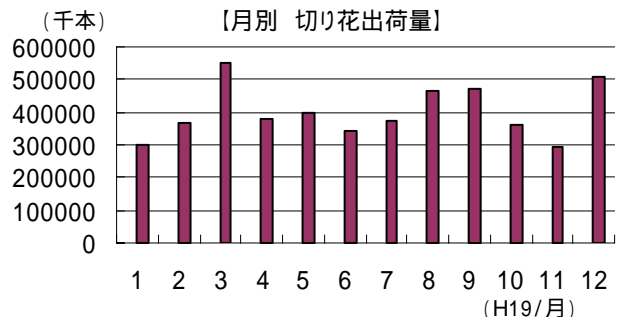


さて、もう一つの“はな”といえば、「花」。  
数ある花の中で、一番出荷されている切り花は何だかわかりますか？【グラフ2】は、農林水産省の花きに関する統計( 3)から切り花の全国出荷量を品目別に表したものです。菊が全体の38%で一番多く、次にカーネーションが8%、そしてばらが7%となっています。ちなみに「トルコギキョウ」は、熊本県が全国出荷第2位で、「その他」に含まる「宿根かすみ草」は、日本一です。

【品目別 全国切り花出荷量】(千本) 【グラフ2】



【グラフ3】



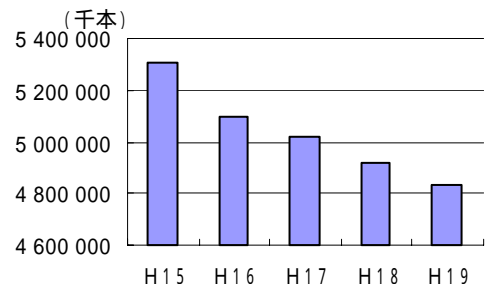
3月は卒業式、退職、転職などで花束を贈ったり、もらったり、また花束を抱えた人を見かけたりすることが多くなる時期です。

切り花の月別出荷量を見てみると(【グラフ3】)、年度末の3月と年末の12月が多くなっています。確かにこのような「区切り」のシーンには花の出番が多いようです。

【グラフ4】

最後に、【グラフ4】は、切り花の出荷量を年別に表したのですが、景気悪化の影響もあるのでしょうか。平成15年からは年々減少してきています。

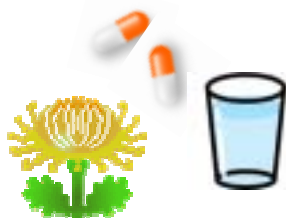
【全国切り花出荷量の推移】



ここで、なぞかけをひとつ...

「『早めの鼻炎薬』とかけて、『日本で一番多く出荷されている花』と解く」その心は.....「“きく”(効く・菊)でしょう」

鼻炎の方はどうぞお大事に。



( 1)厚生労働省「薬事工業生産動態統計」 <http://www.mhlw.go.jp/topics/yakuji.html>  
 ( 2)薬効分類に「鼻炎薬」の品目がないため、アレルギー用薬のなかの抗ヒスタミン剤のデータを抽出した。(「医薬品薬効分類別用途別出荷金額」一覧から)  
 ( 3)農林水産省統計 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



# 「Thank you, my pencil !」



映画『つみきのいえ』が、今年の米国アカデミー賞短編アニメーション賞を受賞しました。「Thank you, my pencil(ありがとう、私の鉛筆)」...これは、加藤久仁生監督による受賞スピーチの一部です。この映画は、鉛筆画をベースにパソコンで彩色作業を行ったものなのだそうで、帰国後の会見で、先のスピーチについて「鉛筆の手書きの感じを出すことを大事にしている、鉛筆を握って格闘したから」と語っていました。

さて、鉛筆といえば、小学校入学時、筆箱に長さの揃った削りたての鉛筆を並べて胸躍らせたことを思い出します。経済産業省の生産動態統計(繊維・生活用品統計)( 1)から、筆記用具(三種)の年間販売数量を見てみましょう([グラフ1])。これによると、ボールペンの変動の幅が大きいことがわかります。また直近の平成20年の数量を元年の数量と比較してみると、ボールペンが増加しているのに対し、鉛筆とシャープペンシルはともに減少しています。

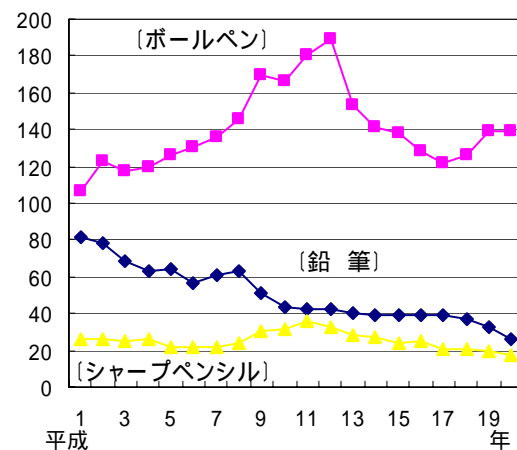
下の[グラフ2]は、筆記用具ごとの平成20年の月別販売数量を表したものです。ボールペンとシャープペンシルは4月前後が多く、鉛筆については1月がトップで、更にその前後2ヶ月が多くなっています( 2)。この時期は入学試験の時期と重なりますが、通常の筆記試験では、シャープペンシルも許可される場合が多いのに対し、1月に行われる大学入試センター試験(マークシート方式)では「黒鉛筆(H、F、HB)を使用すること( 3)」とされていますので、このことも少なからず関係しているのではないかと思います。



[グラフ1]

(千万本)

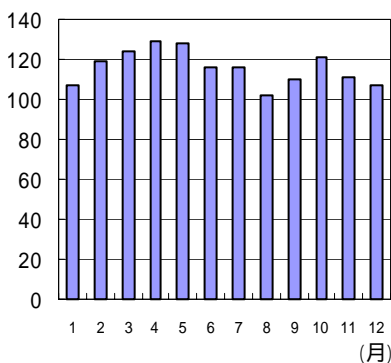
[年別販売数量]



[グラフ2]

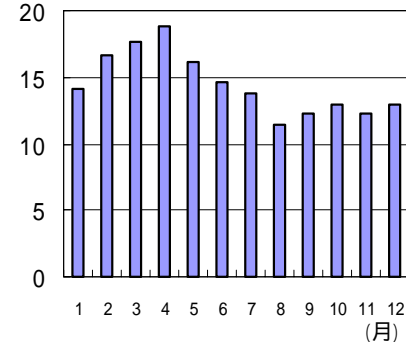
[平成20年月別販売数量]

(100万本) [ボールペン]

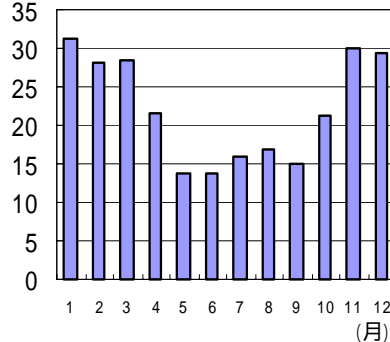


[シャープペンシル]

(100万本)



(100万本) [鉛筆]



言うまでもなく鉛筆は筆記用具ですが、物事を決める道具としての一面も忘れてはいけません。以前、あるクイズ番組で、「鉛筆転がし」をして回答した野球選手が見事に1000万円を獲得したことがありました。アカデミー賞から1000万円まで( ? )、「鉛筆」には無限の可能性が秘められているようです。

( 1) 経済産業省生産動態統計 <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result-2.html>

( 2) 平成元年から19年の販売数量のデータについても、同様の傾向が見られる。

( 3) 独立行政法人大学入試センター(センター試験情報 - 受験上の注意) <http://www.dnc.ac.jp/>

